

角田竹冷 ツクシ 俳人。安政二年五月「百駱河國生れ、大正八年二月
二十日歿（一八六一—一九一九）。本名貞平。別號半閑人、未閑人、未閑紅、
梅山、神田閑人、竹涼、蕪雨窓、聽雨窓主人、閑々人、頓々房等。明
治五年上京、代言人、市會議員、衆議院議員など事務め、この方面で
と著名。一十八年岡野知十、窪崎紅葉、大野洒竹等と秋聲會を興し、
機關誌「俳諧秋の聲」發刊。更む「俳句杖」、俳句未大刀」と續けた。

著書「俳諧句全集」（校訂、明治二十二年九月十八日博文館「俳諧文
庫」）、俳句百篇冬之篇（附録花の下露）（合著・松田實能編、明治二
十四年六月）二十四日俳聲發行所「俳聲叢書」、俳句耕石編「俳句奉應辭
典」（補、明治四十年六月十一日大東社）、俳句名流俳句談（合著
・沿波 續音 天竺 南編、明治四十一年八月）二十八日内外出版協會）、俳句芭蕉
句集講義・春の巻（編、明治四十一年十一月）二十八日博文館）、俳
遊記（明治四十二年九月五日如山堂書店）、俳句聽雨窓俳話（大正
元年十一月十九日博文館）、俳句竹冷句鈔（竹冷會編、大正九年十月
十六日竹冷會）等。

